

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談
2. 日時：令和4年9月22日 13時00分～14時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ

技術基盤課 遠山課長、照井課長補佐

原子力規制部

原子力規制企画課 藤森企画調査官、佐藤係長

審査グループ 実用炉審査部門 澤田管理官補佐

原子力エネルギー協議会（ATENA） 副部長 他1名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 燃料管理グループ マネージャー 他1名

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 運営グループ長 部長 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子燃料部門 燃料技術グループ マネージャー 他2名

#### 5. 要旨

○原子力規制庁から、10行10列燃料（以下「10×10燃料」という。）及び統計的安全評価手法（以下「BEPU」という。）並びに事故耐性燃料（以下「ATF」という。）について、ATENA及び事業者（以下「事業者等」という。）に対して以下を伝達した。

- 10×10燃料及びBEPUについて、次回以降の主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会（以下「CNOとの意見交換会」という。）において意見交換できるよう、準備すること。また、ATFについても、事業者等からの提案事項があれば、次回以降のCNOとの意見交換会において意見交換できるよう、準備すること。
- 準備に当たっては、円滑な意見交換が実施できるよう、事業者等として、検討状況、議論の論点、想定するスケジュール、案件に対する優先度の考え方等を明確に示すよう、留意すること。また、出席者についても、意見交換する議題に対応出来る体制を準備すること。

○事業者等から、了解した旨回答があった。

#### 6. 資料：

なし

以上